

広報

どうし

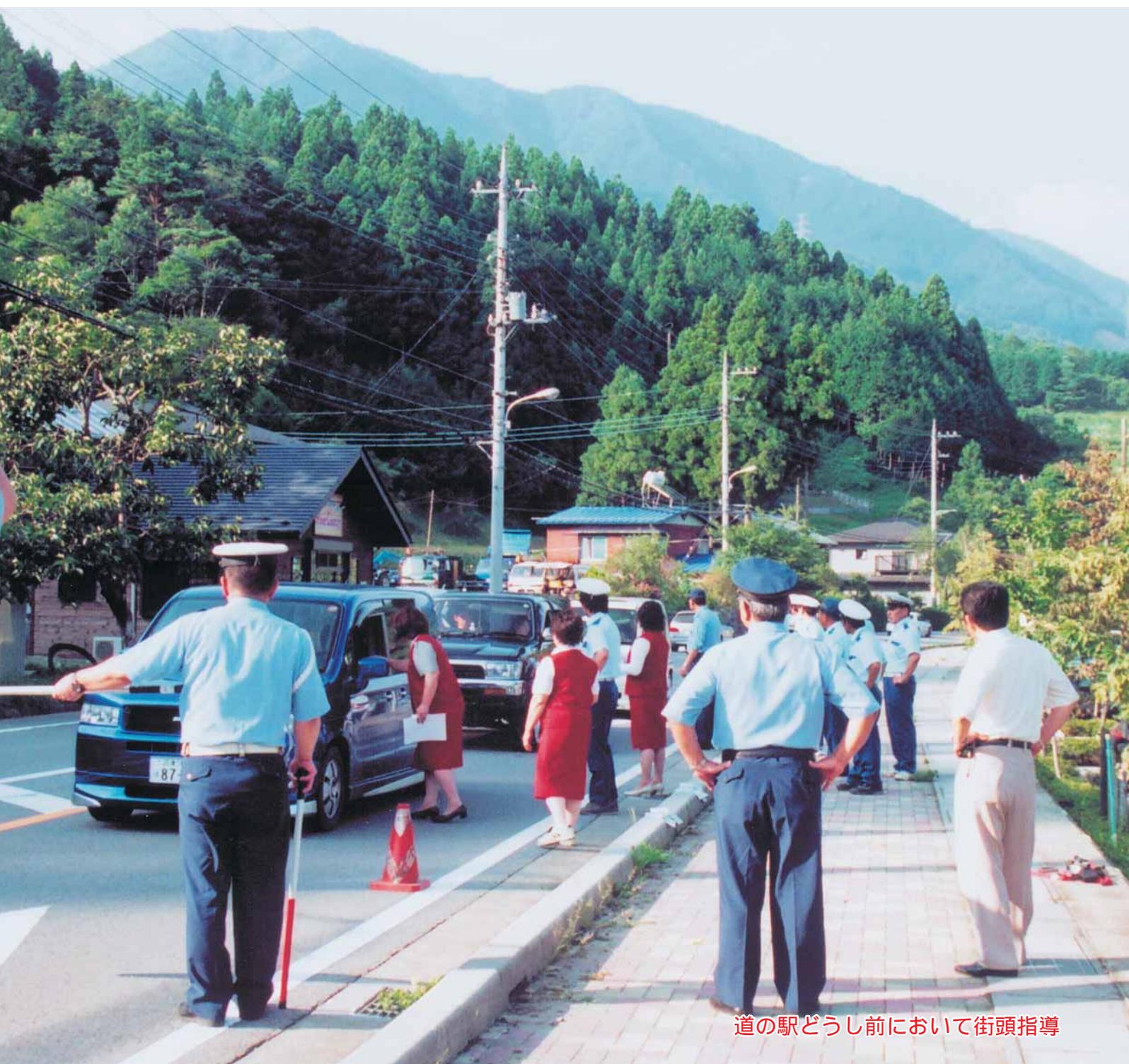
道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくらします。
- 一、生産に励み豊かな村をつくらします。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め文化の村をつくらします。
- 一、人情といたわりの心を養い福祉の村をつくらします。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくらします。

2004 September 9月号



道の駅どうし前において街頭指導

基本健診・がん検診を受けましょう

自分の健康は自分で守る 健康なときこそ健診を受けましょう。

実施日	受付時間	検査項目	場所
9月7日(火)	午前 8:00 ~ 11:00	胃がん検診	旧唐沢小学校体育館
	午前 8:00 ~ 11:00	腹部エコー検診	〃
	午前 8:00 ~ 11:00	基本健診	〃
	午前 8:00 ~ 11:00	大腸がん検診	〃

検査料金

検査の種類	検診でわかる病気	検査料	自己負担	村負担
基本健診	高血圧・心臓病、肝臓病等の成人病	9,040	1,000	8,040
胃がん検診	胃、十二指腸潰瘍、ポリープ、炎症、がん等	3,700	500	3,200
大腸がん検診	小・大腸炎症、がん等	1,680	500	1,180
肝がん検診	超音波、胆のう、肝臓、膵臓等の異常	2,940	500	2,440

大腸がん検診 大腸がんスティックが役場住民健康課にありますので、受診したい人は500円を持参で8月31日までに取りに来てください。事前に渡された容器に2日間採便して、必ず問診票と一緒に7日の午前11時00分までに旧唐沢小学校へ届けてください。

基本健診 がん検診を受診される方は朝食をとらないでください。

乳がん・子宮がん検診を行います！

村では、今年も、乳がん・子宮がん検診を行います。

近年、食生活の欧米化などにより、乳がん、子宮がんが増えています。しかし、早期に発見することで、100%治るともいわれます。

実施日	場所	時間
10月4日(月)	ほろほろ(西和出)	受付・午後1時30分~3時
10月7日(木)	山光荘(下白井平)	診察・午後2時~

対象

30歳以上の女性

費用

乳がん・子宮がん
各500円

今年度から乳がんは視触診+超音波、視触診+マンモグラフィを医師と相談して決めます。また、超音波、マンモグラフィは施設検診ではできません。村内の検診を受けるようにしてください。

問い合わせは役場住民健康課まで(TEL 52 - 2113)

「結核・肺がん検診を受けた方へ」

住民健康課から

健診は受けっぱなしでは意味がありません。

健診で少しでもからだの異常が見つかったら医師や保健師の指導を受けるとともに、食生活や運動、ストレス、飲酒、喫煙などの生活習慣を改善していきましょう。逆に異常なしといわれた人も、安心して無謀な生活を続けるのではなく、元気なうちから日常生活を改善していくことが、将来の健康につながることを忘れないで下さい。

「結核・肺がん検診を受けた方へ」

平成十六年七月八・九日に村内で行われた結核・肺がん検診について、結果をお知らせします。

受診者は二百二十八名でした。そのうちレントゲン写真で五名、喀痰で一名精密検査を必要とする結果が出ました。精密検査を必要とする方には既に通知を出しました。早めに医療機関に受診してください。通知の行かなかった方は異常のなかった方

です。

病気の早期発見・早期治療のために、年に一回は検診を受け健康に留意しましょう。

結核は「昔の病気」ではありません！

結核はいまでも毎年四万人以上の患者と三千人ちかい死者をだしています。

最近では、病院や事業所、老人福祉施設などでの集団感染も多くみられるようになっていきます。

結核は、いまもつとも注意しなければならぬ病気なのです。

こんな症状が

出たら要注意

咳や痰が続く

二週間以上も軽い咳や痰が続きます。子供の場合はあまり痰は出ませんが、成人の場合は量が増加します。

体がだるくなる

無気力になり全身に倦怠感をおぼえます。

特に、子供の場合は全身がだるく元気がなくなります。

体重が減る

特に高齢者の場合は、食欲がなくなり、体重が減少することが多いので注意が必要です。

微熱が続く

夕方になると、よく微熱が出るようになります。寝汗をかくことが多くなります。

胸に痛みがある

重い感じがして、肩が凝るように感じます。進行している場合は血痰が出る場合があります。

これらの症状は、気管支炎や肺炎にも共通する症状です。「なぜかな？」ですませないで早めに医師の診断を受けるようにしてください。

男女共同参画推進リーダーを 県知事が委嘱しました！！

水越 明子さん(道志村二、〇七三)
金子光一郎さん(道志村五、二〇六)
の二名が村の推薦により推進リーダーとして県知事より委嘱されました。
任期は、平成十六年度、平成十七年度の二年間。

リーダーの役割等

男女共同参画の推進は行政だけではなく、県民、事業者、関係団体等の主体的な取り組みが必要です。そして女性だけでなく男性も含めた県民一人ひとりの意識改革が重要です。そのため、推薦リーダーは地域における男女共同参画を推進するための啓発活動や課題解決に取り組んでおります。

その一環として、両名のリーダーが去る八月五日道志村長を訪問して女性の地位向上の為、政策決定のあらゆる場面への女性の登用をお願いしたいとの書面を手渡ししました。

しかし、今までの状況を見ると女性自身が何事にも消極的な為今後において女性の見が村政に反映され住みよい村づくりへと繋がる事が期待されます。



診療所だより



今年は蜂刺されで受診する方が多いです。今回は蜂に刺された時の対処法についてと今冬のインフルエンザ予防接種と超音波診断装置を購入したことについて書いてみました。

- ・今年は去年に比べ蜂刺されで受診する方が多く1日に数人は受診するような状況です。蜂に刺された時には速やかに巣から離れ、刺口を流水でよく洗い流し、手で毒液を絞り出します。その後患部に虫刺されの薬（抗ヒスタミン軟膏）を塗り、水をタオル等で巻き、それで患部を冷やします。アンモニアは全く効果がありません。その後速やかに医師の診察を受けてください。蜂刺されの死亡例のほとんどは、即時型のアレルギーが原因です。極めて短時間（刺傷後数分～10数分）で症状が現れます。そのアレルギー症状を緩和するための自己注射器「エピペン」が、医師の処方により入手できるようになっております。
- ・去年10月の広報に同内容のことを書いておりますので詳しくはそちらをご覧くださいと思います。
- ・今年もインフルエンザの予防接種を10月中旬頃に行いたいと思います。おとしには約300人、去年は約450人の方に接種できましたが、去年は最後の方でできない方がいたため、今年は700人分用意しております。去年村内でもインフルエンザが大流行しましたが、予防接種をしていた方はかからなかったり、かかっても楽にすみましたので是非多くの方に受けていただきたいと思います。希望される方は今まで同様電話予約をお願いいたします。



- ・8月12日に最新の超音波診断装置（エコー）を買っていただきました。

ALOKA社のSSD-3500というモデルです。当診療所にあう、コンパクト性能のいいものを選択しました。今までは平成2年度購入のもので画像も悪かったのですが、とても画像は鮮明、さらに心臓の弁の逆流が分かるカラードップラーつきで腹部、心臓の検査が出来ます。

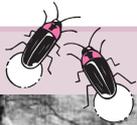
去年買っていただいた胃カメラ同様積極的に検査を行っていきたいと考えております。胃カメラは1日に1人しか出来ませんがエコー検査は1日数人できますので予約後すぐ検査できます。

検査御希望の方、興味のある方は診療所まで連絡をお願いいたします。

9月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8/29	8/30	8/31 午前:胃カメラ	1 研修のため休診	2	3	4 午前中のみ診察
5	6	7 午前:胃カメラ	8 研修のため休診	9 午後:乳児検診	10	11 休診
12	13	14 午前:胃カメラ	15 研修のため休診	16	17	18 休診
19	20 敬老の日	21	22 研修のため休診	23 秋分の日	24 午後:会議	25 午前中のみ診察
26	27	28 午前:胃カメラ	29 研修のため休診	30 午後:乳児検診	10/1	10/2 午前中のみ診察

月初めには保険証の提出をお願いします。



ヤマメのつかみどり



ホタル籠づくり



木製の文字盤時計づくり

第18回 ホタル祭り が開催されました

第十八回ホタル祭りが七月十日、観光農園広場において、午後三時から観光協会主催により、開催されました。今年も木製の文字盤時計づくりやホタル籠づくり、また、ヤマメのつかみどりなどが行われ、村内外からも大勢の方が訪れ、賑わいました。また、特設テントでは、道志村特産品のクレソンやとうもろこし、木工製品、青年団によるかき氷、焼き鳥、金魚すくいなどが行われ、祭りも一層盛り上がり、最後を飾る打ち上げ花火は迫力があり、声援が送られました。

園内のホタル池周辺には、ホタルが舞い始めるホタル鑑賞をする子供たちや、家族連れなどで賑わっていました。

学校だより

道志小学校
(第13号)



季節感の漂う花壇

本校には、狭い校庭ではありますが、少しばかりの花壇があり、今はマリーゴールドが大きく花開いています。

春・夏・秋と、季節に合った草花を毎回、一年生に植えてもらっています。児童達が口にする食べ物も季節感がない時代といいながらも、校庭の花壇は正直で、季節に合った草花しか咲くことができません。ですから、この花壇で児童は、きつと季節を感じ取っていることと思います。命あるものを自分達で育てることで、自ら働くことや思いやりを育み、大きく花開く子どもに育って欲しいと願っています。



不審者侵入予防訓練



前年度は、防犯用具の購入と、職員を対象とした訓練を行いました。今年度は七月に児童を対象とした予防訓練を行いました。

不審者侵入場所の対象は、一階に教室がある一年生です。今回が、初めての訓練ですので、訓練の前日の朝の会で、担任が訓練の説明をし、教頭が不審者役になって、予備訓練をし、当日は都留署の方に不審者役になってもらい、予防訓練を実施しました。

当然ですが、事前に「訓練です。不審者役は警察の人です」と伝えておいたのですが、不審者役が「演技派の俳優？」だったのか「怖かった」という児童の感想がありました。訓練だから「それなりに」とも思いつつも、ある程度の現実感（緊張感）も加味しなくてはならないことが来年度の課題です。

家団樂の中で食べることが「心の満腹」につながっていくものだと思います。

給食試食会

今年度から給食試食会を始めました。試食会は、ただ給食の試食を保護者の方が行うのではなく、「手洗い、配膳・盛り付け」もすべてしてもらいました。家では、お母さんが全てやってくれるのですが、当日の我が子の働きぶりに驚いたことでしょうか。

都会では、子どもだけによる「個食・孤食」が多くなっているようですが、食事は家族で向かい合い、一



サマースクール

小学校では「開かれた学校」として、外部講師やボランティアの方々に学校に来ていただき、学校や児童の学習・生活の様子を見ていただいています。

そこで、夏休み中は、各先生方の特技や趣味を生かした教室（サマースクール）を開き、児童や一般の方々にも学校を解放しました。

講座数は、去年の倍の十三教室（お絵かき、習字、リコーダー、ギター作り、テニス、和歌、頭の体操、折り紙、切り絵、べっこう飴作り、バブロケット作り、パソコン、一輪車・竹馬）へ、延百二十一名が参加しました。

学校といえば、算数や国語の勉強等の学習が中心ですが、夏休みに限っては、児童が趣味や興味を広げたり、創作活動に集中できたり、楽しい憩いの場となったようです。

なお、先生方も、学年を超えた多くの児童を指導できたことで、多面的な様子が理解でき、一学期からは、他学年の児童との会話も多くなっていくと思います。

